



企業・団体名	有限会社 くりこま高原ファーム		事業内容	農業 ・米づくり全般, 作業体験可 ・「粃がらかまど」による炊飯体験		
連絡先	住所	〒 989-5341 栗原市栗駒稲屋敷大尻6				
	Tel	0228-45-2893	9:00~17:00	Fax	0228-45-5425	担当者 代表取締役 加藤 洋
支援可能対象団体	【職場見学】【就業体験】【講師・指導者の派遣】 特に制限なし				支援可能人数	【職場見学】 特に制限なし 【就業体験】【講師・指導者の派遣】 一度につき50名まで
支援可能地区	・米づくり全般, 作業体験 ⇒ 栗原地域事務所管内(全域) ※他の地域の方は要相談 ※来ていただければ受入は可能です。 ・「粃がらかまど」による炊飯体験 ⇒ 全県可能				支援可能時期	【職場見学】【講師・指導者の派遣】 随時受付 【就業体験】 「田植え体験」：5月中旬
支援分野	【職場見学】【就業体験】 自然体験・活動, 農林水産業やその体験に関すること 【講師・指導者の派遣】 自然体験・活動, 農林水産業やその体験に関すること 食育・食品関係(食品製造・販売・飲食店)に関するこ					
支援内容	<p>【職場見学】 「育苗見学」 種をまいて苗を育てる過程について学ぶ。お米の貯蔵や粃から玄米にする施設, 玄米から白米にする施設を見学。田んぼで働く機械を見学。 ※30分から45分くらいで, 設定は自由です。</p> <p>【就業体験】 「田植え体験」 「粃がらかまど体験学習」 田んぼが会場になる。担当者から説明を受けた後に, 実際に田植え機に乗り, 現代の田植えを体験する。また, 周辺の生き物観察も併せて行う。 粃がらを燃料として, ご飯を炊く「粃がらかまど」という道具でガスや電気を使わずにご飯を炊くことを体験するとともに, ご飯の美味しさを体験する。※細かく分解できるため持ち運びが容易な上, ネジを使わずに短時間で組み立てられる。農業や家庭科, 防災の学習にも使えます。</p> <p>【講師・指導者の派遣】 「粃殻かまど炊飯体験」 電気やガスを使わずに, 炊飯することを学ぶ。昭和の時代のご飯の炊き方の一つ。粃から玄米を取って残った粃が</p>					
過去の支援例	<p>【職場見学】 「育苗見学」は, 地元の小学校の5年生が種をまいて苗を育てる過程について学んでいます。同時にお米の貯蔵や粃から玄米にする施設, 玄米から白米にする施設や田んぼで働く機械を見学しました。</p> <p>【就業体験】 「田植え体験」は, 毎年地元の小学校5年生を対象に行っています。 「粃がらかまど(炊飯)体験」は, 地元の小学校で家庭科の時間や隣の小学校の学年PTAの行事で行いました。また, 一般を対象に仙台市の定禅寺通りで行われたイベントで実施しました。その他にも, 東京都の六本木のレストランで行われた, 親子で朝ご飯というイベントや河北新報と栗原市が主催した今できることプロジェクトにおいて実演しました。参加者は親子や夫婦などです。東北風土マラソン(登米市開催)のキッズコーナーで実演をはじめ, その他多くのイベントにおいて実演しています。</p>					
支援にあたり特記・注意事項	<p>○「育苗体験」は外からの見学もあるので, 靴や衣服が汚れる場合もあります。機械類に近づきすぎないようにしてください。</p> <p>【就業体験】【講師・指導者の派遣】 ○「田植え体験」は, 機械に乗ること, 場所が田んぼということで, 体操着に長靴, ヘルメットが必要です。 ○「粃がらかまど(炊飯)体験」は, 「米研ぎ」から「かまどの組み立て」, 「炊飯」について, お米についても学べる上, 最後に極めて美味しいご飯を食べることができます。 ○外からはほとんど火は見えませんが, 火をつけると熱いので触らないでください(炎が大きく上がったり, 燃え移ったりする心配はありません)。 ○火を使うので, 屋外での実施になります。雨天の場合や風の強い日はテントが必要になります。</p>					

業務の 紹介やPR	<p>お米の生産から販売まで手掛けている農業の会社です。秋に収穫したお米を、粳の状態ですべて一年中保管する施設があり、その施設で火力を使わずに常温通風で乾燥します。毎月必要な量を粳摺り(粳から玄米に)して品質検査を受け、一等米のお米を精米(玄米から白米に)します。自分たちが育てたお米を全国の顧客に宅配で販売しており、最近ではネット販売も始まっています。</p> <p>農場は創業から54年目ですが、お米の直接販売は25年目になります。栽培は「みやぎの環境にやさしい農産物」の認証を受けています。安全で安心して食べることができる美味しいお米を全国の皆様にお届けしています。保育園や幼稚園、小学校、介護施設、飲食店等にも直接提供しています。</p> <p>「お米の消費を増やすこと」と「ご飯の本来の美味しさをすべての人々に知ってもらうこと」をめざし、「粳がらかまど」の実演を行っています。</p>
ホームページ	http://www.kougenfarm.jp/